

## “とっとり”発 菌類きのこセミナー開催のご案内

～「食品・創薬・環境浄化・健康管理」分野にビジネスチャンスあり～

鳥取県と(公社)関西経済連合会(鳥取サポーターチーム)は、セミナー・視察会の開催など産業面を中心に連携した取り組みを行っております。今回は鳥取に技術が蓄積している菌類きのこによる新しいビジネス展開に向けたセミナーを開催いたします。

多様な機能がある菌類きのこは、食用をはじめ、創薬・環境浄化(ダイオキシン他)・健康管理などの幅広い分野の企業に活用されています。そこで、菌類きのこに関してわが国において最先端の研究を行う「一般財団法人 日本きのこセンター」、および、唯一の教育研究施設を有する「鳥取大学」での取り組みについてご紹介いたします。(詳細は別紙資料をご覧ください)

様々な分野での活用が期待される菌類きのこに関して、様々な技術などを把握できる絶好の機会です。ご多忙のところ恐縮に存じますが、是非ご出席を賜りますようご案内申し上げます。

### 記

1 日時 2015年 2月17日(火) 14:00～16:00

2 場所 関西経済連合会 29階会議室 (大阪市北区中之島6丁目2番27号 中之島センタービル 29階)

3 内容

(1)テーマ:「きのこの研究拠点とっとりについて」

講師:一般財団法人 日本きのこセンター菌蕈研究所 所長 福政 幸隆 氏

(2)テーマ:「菌類きのこ遺伝資源の発掘から活用までの取組について」

講師:鳥取大学農学部附属菌類きのこ遺伝資源研究センター センター長 中桐 昭 氏

【一般財団法人日本きのこセンター菌蕈研究所】

きのこ類の分類、生態、遺伝、生理等を研究するわが国唯一の民間学術研究機関。海外の博士研究者を受入れるなど国際的なネットワークを有する。

【鳥取大学農学部附属菌類きのこ遺伝資源研究センター】

わが国唯一の菌類きのこ類資源科学分野の教育研究施設。文部科学省のグローバルCOEプログラムに採択されるなど、世界の菌類きのこ資源科学をリードする中核的教育拠点をめざしている。

※3月には両機関への現地視察会を開催する予定です。

◆主催 鳥取県、(公社)関西経済連合会

◆参加費 無料

■定員 100名

■お申し込み 裏面参加申込書にご記入の上、FAXにより2月12日(木)までにお申し込みください。

お問い合わせ 鳥取県関西本部

井手野 TEL 06-6341-1977

<会場案内図>

〒530-6691

大阪市北区中之島6丁目2番27号  
中之島センタービル29階会議室



2015年2月17日(火)開催

お申し込み締切2月12日(木)

“とっとり”発菌類きのこセミナー 参加申込書

FAX 送信先:06-6341-3972

鳥取県関西本部 井手野 宛

※参加証等は発行いたしませんので、当日受付にて名刺を1枚お渡し願います。

貴社名					
参加者ご芳名			部署・役職名		
連絡先	TEL	( ) -	FAX	( ) -	
	E-MAIL				
業種 (該当するものにレ)	<input type="checkbox"/> 医薬品分野 <input type="checkbox"/> 食品分野 <input type="checkbox"/> 製造業(医薬品、食品以外) <input type="checkbox"/> 商社 <input type="checkbox"/> 金融 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 ( )				

※ご記入いただいたお客さまの情報は適切に管理し「とっとり発菌類きのこセミナー運営のため」に利用します。

※今後お客様のご関心のあると思われる、各種事業及びセミナー関連の情報をご案内させていただきたく、ご承諾賜れば幸いです。ご案内を希望されない場合には、右の□にチェックをお願いいたします。 □送付不可

## 一般財団法人日本きのこセンター菌蕈研究所の概要等について

### 1 概要

きのこを主とする菌類の研究を通して、環境保全循環型農林業の維持振興と学術文化の向上発展等を目的に、森林生態系における菌類の種多様性や役割並びに持続可能な原木きのこ栽培システムの構築などに関連した分類・生態、遺伝・生理、細胞融合やDNA解析等のバイオサイエンス研究、品種開発、栽培、経営に関する応用研究までの幅広い研究に取り組んでいる。

### 2 主な研究内容

#### ○生薬きのこの栽培研究

- ・生薬の原料となるブクリョウなどの生産実用化の可能性について研究

#### ○創薬向けきのこの品種研究

- ・近年、創薬向けの原料とするため、原木生しいたけの製薬会社への提供も行われ、薬用成分が多く含まれる品種の研究

#### ○食用きのこの栽培研究

- ・市場のニーズが高いと期待されるきのこ類を対象に、スギおが粉、スギパーク、広葉樹資源を活用した生産技術を研究

#### ○ダイオキシンやPCBなどの難分解性環境汚染化学物質を分解するきのこ種を見出し、環境浄化に向けた研究

#### ○菌根性きのこによる里山の再生と保存に関する調査研究

### 3 その他

国際流動基礎研究外国人研究者受け入れ研究機関として、科学技術庁の指定を受け、アメリカ、カナダなど4カ国の若手博士研究者を受け入れた。

また、平成24年10月には、ブラジル国立アマゾン研究所と学術研究協力に関する協定書を締結した。

# 国立大学法人鳥取大学農学部附属菌類きのこ遺伝資源研究センターの概要等について

## 1 概要

菌類きのこに関する高レベルで特色のある体系的な教育と研究を進め、優秀な人材の育成を図ることを目的に平成17年度に設置され、一般社団法人日本きのこセンター菌茸研究所との連携により、地域産業の活性化や新産業の創出を目指していく、わが国唯一の菌類きのこ類資源化学分野の教育研究施設である。

## 2 主な研究内容

### ○菌類きのこ遺伝資源評価保存

- ・世界最大規模のきのこ類菌株コレクション (TUFC 菌株コレクション)  
(企業、教育・試験機関への菌株の分譲提供)

※ TUFC (Tottori University Culture Collection)

- ・きのこ抽出物ライブラリー (現在作製中)

(きのこ子実体及び培養株由来の抽出物を作製、ライブラリー化を進める)

### ○菌類きのこ資源の活用研究、新機能開発

- ・きのこ抽出物からの有用生理活性物質の探索 (医薬、試薬、食品分野)

### ○植物 (作物) の病害防除の研究

- ・植物病原菌に対する抗菌作用を持つきのこ揮発性物質の探索

(揮発性抗菌物質を発するきのこ: プナハリタケ、プナシメジなど)

### ○菌根菌 (ショウロ) の人工栽培法の開発

- ・高級食材きのこ (ショウロ) の培養菌糸体を用いた人口接種栽培法の開発

### ○きのこ栽培技術の開発

- ・毒きのこを含む非食用きのこ類の栽培研究 (抽出物など機能性物質の探索源)

## 3 その他

平成20年度には、教育研究拠点プログラム「持続性社会構築に向けた菌類きのこ資源活用」が文部科学省グローバルCEOに採択され、今後も世界の菌類きのこ資源科学をリードする中核的教育研究拠点を目指していく。